である。まづ私自動の艦艇を押上 である。まづ私自動の艦艇を押上 である。まづ私自動の艦艇を押上

聯盟脱退による一

時局重大化座談會回

風の目的に背馳

主し得ざるものであり、

加へざるにあり、日本としては将來斯くの加き聯盟との間に滿洲問題を討議すなき國家にして斯かる國家の紛争に對しては規約は伸縮的に適用せられざるべからず、聯盟の失敗はこの伸

紛爭解決に對する原則は當事國の主張を意重し實情に立脚するに在るが、現實に反し抽象的論議に立脚し

幸超國家的裁判機關に非ず、然るに清州問題に對する聯盟の推置はこの本旨に反き極めて越権的偏執行為職権の機本掩繞職を指摘するに解決してゐる職態運通告をなすさ同時に、新職政府の膨進勢明を中外に變越するに決し、外別投続の影明順彩左の如く、心監の不識、政府は来るべき輸出總會において動音報告書が探接されたる場合、急速に脱退を決行すべき時の来ること必定なりさ、政府は来るべき輸出總會において動音報告書が探接されたる場合、急速に脱退を決行すべき時の来ること必定なりさ

脫退聲明書

の腹案骨子

# 一當の處置を

日銀參與會

全滿領

的平和である。日本であらうであらうである。日本は鴻洲圏の堅質なる愛展れ、日本は鴻洲圏の堅質なる愛展

盟機構の缺陷指摘



ライラックの夜回じ

## 一支那に 支那に

食べ物店を見獲つた案に

# 聯盟總會第

文以外に發言する個は無い樂様である「ジュネーが世」日受」世四日の概念は午前十時半階館の學定で概念だが、多分午後も會議績行、一日を以て會議を終了ジュネーが世」日受」世四日の概念は午前十時半階館の學定で概念統が、多分午後も會議績行、一日を以て會議を終了ジュネーが世」日受」世四日の概念は午前十時半階館の學定で概念統称にあたつては日支以残跡に激説はなるの影像である

## 議長、紛爭處置經 過を報告

存績に決定

に依る機動的行動である 三、日本が一九三三年九月十五日に執った 軍事 行動 は自 明された日滿議定書 に基くものである。それ

動を機績するのみがに 熱河省に反抗

単等行動は必要なきに至り省境、省内に最近に至り省境、省内に撤退する事ない、若心學及が軍ない、若心學及が軍ない、若心學及が軍ない、若心學及が軍ない、若心學及が軍ない。

な時機にあたり、各國政政な時機にあたり、各國政政を自國代表に訓令と戦へるべきで戦へるべきで

交涉委員會

英佛等十二國で

支本

京天中春 央日 通町

電話代表

四一三一香

をつける、日本は今その「賢明な」ならいと見切り それで総載、被指な一部の紳士」

外なきに至 きたものと が なきに 変成の

「館の株土」の一種に「一株々 0

がいやなら「一純智慧せ」で読を各會社の機會等に押掛けて、株 ○「總會」に売される。

『金融』の前途知るべきのみ。 「小殿」さいふ「街の郷土」に

「お否し上りものでございま」 一でお否し上りものでございまった。 一であるしながら、さう言つた。 く、奥まつた卓子の一つに案内し女統がすぐに、愛想実びを済べ

「さわ、鎌倉に木覧宿があ 、今夜はまた野宿だが、地



右

「木黄宿で 「本大変でござ

崎虎雄氏(國祭運輸取締役)深隆二氏(實業家)同上

原真高氏 (滿臟纖道部參事)

が、カフエーではま

のなり画脳や影役、鳥類で変形により新変別に動き上京途次が随行、二十二日午前七時にある林磯媛を迎へて重要熟読を開作、二十二日午前七時にある林磯媛を迎へて重要熟読を観行。二十二日乗行機になった。山崎理事、石本橋の部長一前十二十二日乗行機にである林磯媛で迎へて重要熟読を

河本理事歸任

特にお勧めする

(日曜木)

**谷地特設館** 

丁五館に上る

せ旁々下調査のため二十二日

熱河

の義勇軍

· Fdzumi Masamune

見込みであるが保験金は一萬五千店の所有にかくり振客約一萬個の

色白く

香よう

味よ

正規兵の間に内訌

張學良の力では調停ならず

日々に悪化し來る

熱河住民を

飛ん

た無理心中

時組員像本物一氏があり、同氏は 出央さ共に我家の頻繁を貼みず消 出央さ共に我家の頻繁を貼みず消 で、また編災者中の選潔氏は二階 た、また編災者中の選潔氏は二階 になりまの特性的精神は大いに 対対す見解さして全一封な離ぶした。

洋服類蠢裝

**络酒忠勇忍** 

として梅吹

、筑後屋館店

奉天柳町の珍事件を

大連地方法院で裁く

再審理

謝近火御見舞

孫 津 選者 林 **酿** 

游若林雅

場所を案天棚、 本生命保険外 「清は僕の昔の無人によく似て本生命保険外」「清は僕の昔の無人によく似て大を抱き、は昨年十一月 ゐる」さばく好ちかけて女を抱き、は昨年十一月 ゐる」さばく好ちかけて女を抱き、は昨年十一月 ゐる」さばく好ちかけて女を抱き、はず年十一月 ゐる」さばく好ちかけて安さま。

た何したが死に切れず道にを

アカマツ商會

謝近火御見舞

實用タクシー

八六四番

蓉城甼(東亞物産階上)

救護看護婦生徒七名試驗の上採用す 出願期限 三月六日 (豫定)

救護看護婦性募集

謝近火御見舞

カフェー

養結三四一六番一

新京に國技館も

建設したい希望

滿洲支部設立準備 大日本相撲協會が

の新者を選取し軍法會議に出頭す

省官更は今日「日本外交の秘密」

秘密」を没收

日本には瀟洲熱が非常なも

滿博に集る凄い人氣

海 (二〇〇坪) 北海道 (二〇〇坪) 朝鮮 (二〇〇坪) 朝鮮 (二〇〇坪) 朝鮮 (二〇〇坪) 明東 (二〇〇坪) 明東 (二〇〇坪) 明朝 (二〇〇坪) 元明 (二〇〇世) 元明 (二〇世) 元 (二〇世) 元 (二〇世) 元 (三〇世) 元 (三世) 元

全滿領事會議

掃後に

縣制を施行

土道精神を徹底さす

銀座のネオンに

の徽章を改正

通稱松井伯爵夫人を

**大社教分院** 出雲大社教分

旅順關東廳內

日本赤山

字社為州委

た妖花檢學

非常時に直面

故國に歸るは無念

けさ宇品に向け凱旋 

白衣の勇士武昌丸で

年母の大事な一萬七千國の接金選 母の扶助料まで撤保に四千國を借 人れ選にて友人を職り扱き忌まは 人れ選にて友人を職り扱き忌まは

から朝火事

南の風(晴)時々墨 各地温度

**产順集** 期期人 日限員

予報

氣

謝近火御見舞和 盛泰 錢 莊 恭 媛 莊

時常大連の解寺に於て通用を旧弊に可能的大連の解寺に於て通用をは一連で本郷の機は二十三日帰皇に於て施行仕可倫同日午後一連で本郷を使用此段生前原知諸彦に滅告仕候無疾養中の處薬石無効十九日午前七時死氣疾養中の處薬石無効十九日午前七時死氣疾養中の處薬石無効十九日午前七時死気疾養中の處薬石無効十九日午前七時死

愛宕町の一角を全焼

### 合格者發表 源線の中等単校出採用試験

他田島者の探 横だつたので、これを駆じ三組

**新採用者四百五** 

家族を合せて千六百名が

期待されて満鐵へ

たので私も他書まで計画に行ったので私も他書道省内でも優秀な人だい。 がい政意をもつて選接してくれた。 大臣はどめ省幹部が ちでそれな大臣はどめ省幹部が ちでそれな大臣はどの名幹部が

市民の

反省決意を

促す時局大會

決定同一時設会とため場所でも事に

て火の強りが早く、怒ち同町一

地質はサクソニースである。 (各首着限り提供) 地質はサクソニース (医験付仕立上り) 背廣三補金卅五圓 オーバー金卅 五圓

四月、空家一角で

十六日滿俱球場で

品質第

倉庫一棟を全機同七時十分極

でなら定評ある

四、職業紹介所設置こ、門月開放機會協力のあることを併開る機会を持ちませる。

の 分け二十四日より三日間1000 新にて日常的間を行び最終の認定 をなず無く驚異は養養に集まった。

計可なくらて入港と問題を起と は無に対象の排脈総三等が前患 は無に対象の排脈総三等が前患

で英人怪行動







價特

バアバリー 瑜雨 3



春服背廣・オー

がないにはいるかない。日のからないという

は是非必要品です。流行のレインコート流行のレインコート

田浦合布水 龍俊美太啓正

事門學校 附設職業效育部

無文は東東京都に承合せられたも(安 三月二十二日・二十三日 三月二十二日・二十三日



!!化畵映の作名の朽不るす號誇ら自と作傑の代一が忘不林者作原「談政調大」

果して妥當から

當局者の考察を求めた

日滿合辦電燈廠

新に克山に設立

満電と在來廠との合同

盛夏期に入り漸く回復

は、不振を示し五月送の緊討に於ては、早くも今朝の極端にはこれがため、まは一度が三十萬所種の一千二百十八萬所に握し値。 皮吹を見るに至つた。大連銭鉄市 し事態でれ こ心郷い既然にあつたが、六、七 微部を附続してぬるのは二十餘秤 きは然の三十歳を作る。 これがため、また。 といる。 これがため、また。 これがため、また。 これがため、 これがたがため、 これがため、 これがため、 これがため、 これがため、 これがため、

上半は天候不順

英

塵

倫敦損害保險會社

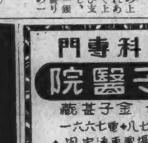
戦時保險料を徴收

滿洲向船舶と積荷に

我保險會社と荷主に通知

「東京特置二十二日盤」ロンドン 料を徴収することとなり、再保験で 1世代では一様に質脆される
繋が様さなつたので日、満洲方面 でなければ受入れない旨我保険會 月十日までには一様に質脆される
「東京特置二十二日盤」ロンドン 料を徴収することとなり、再保験 て適告して來たがその適用は料率

信濃町市場前



月中州內製鹽高

外に無談事項

延吉電業公司

則年對此一割一分增

日人側生産増と滿人側漸減

るを得たものである

看過出來ぬ

廿五日開催

大連取引所

投機抑制を講究

相當の効果を期待さる

為替管理法

を望みたい を望みたい を望みたい

形勢は樂觀出來ないご

廿二日歸連の常深氏語る

との主張有力化しその成否法則でる。との主張有力化しその成否法則である。 おりょうで教師した松岡氏を起用態質的親米外交を一覧するに決し最近短極側透着の間に 右對米方針轉換を機と二日費1 内甲烃根に配點膨胀液の緊米外交に就き緩膨し從來の教科書的外交よ二日費1 内甲烃根に配點膨胀液の緊米外交に就き緩膨し從來の教科書的外交よ

において目下研究中である。 | 粉酸に巻き込まれる処き性質のもの至常さするかは、内務資配 | 女化飯施設にして、瞬隙間の政治を至常さするかは、内務資配 | 女化飯施設にして、瞬隙間の政治を至常さするかは、内務資配 | 首脇部の志向さしては労働會画は京二十二日登 ] 靴壁脱遊後断 | 首脇部の志向さしては労働會画は

關稅改正範圍縮小

列國の關稅引上豫想

例外には出來ぬ

高橋藏相の答辯

けふの議會

時局懇談會開催 に用舞見御・に物贈・養滋・味美・級高最の界子菓

月

労働會議には

引續き参加

内務省社會局の意見

が政府學良に警告

しめよ

熱河から學良軍を

軍部ご財界人

の論評

戰債問題折衝

滿洲唯

尚御茶菓子用には切賣も致しま 御贈答用に優美な木箱入及紙函入の各門 御註文の際は市内遠近に

の統制に関する事項」なる
電料需要料係の分掌内操に「資
収施では昨年十二月の職制改正のした

1 なきため同一の調査

資料統制に着手

資料課が懸案解決へ

監督権を留保すその方法さらて 一、名稱は日本製級株式會社 新會社に到こ政府は叛範圍の 會社に貸付く 信選の短期資金融通の形式改

日

米と佛は減少し

セススス 五スース

全治要量の4

柳繁樹三隻が問題を想したが、今

たので、標準代表質

麻袋に送り

綿糸小聢り

者詮衡

大同學院志願

の移動

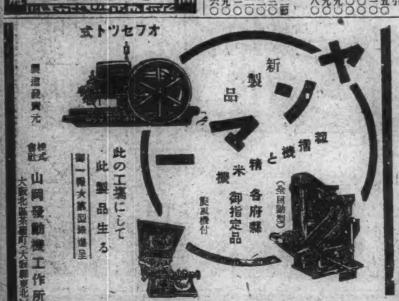
會濕洲對 會開催 策同志

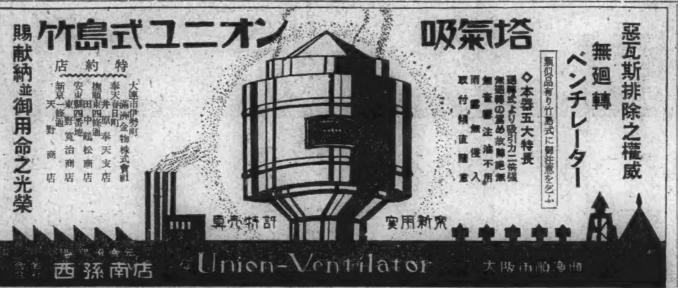
新聞協会 八月上領大連お八月上領大連お 上旬開催

開放職は甘、廿一の兩山族服及を開放職業官職智所高等科生の採

株界非常時

が所は交渉を見て来る事にない。 に演した以上、迷席は別に程識氏 の空楽を見て来る事は必要人参製 の空楽を見て来る事は必要人参製 の変楽を見て来る事は必要人参製 の変楽を見て来る事は必要人参製 の変楽を見て来る事は必要人参製 の変楽を見て来る事は必要人参製 の変楽を見て来る事は必要人参製





## 製鐵會社合同 法案近く閣議に附議

室において張遠提以下各髪臍形動波二十一日午後二時から寒臓形動波に 滿洲中央銀行 資產委員會官制

支那市場を失ひ苦境

高等科試驗

▲ 離原義江氏(撃樂家) 廿二日夜 はざにて来速 竹内悌三郎氏(正隆銀町副頼取)

北海道昆布の 満洲進出は困難

である、氏は四川省出身の豪古族 を を は後は館を動して電製作し民職 は後は館を動して電製作し民職 は後は館を動して電製作し民職 は後は館を動して電製作し民職 は後は館を動して電製作し民職 は後は館を動して電製作し民職 である。氏は四川省出身の豪古族 でので氏は特に設か能 (新京電話)新に参議に東任される報程氏は子園を嬲ら本年七十三 る報程氏は子園を嬲ら本年七十三 ある。氏は四川省出身の蒙古司の理事最をなし質業界の重 新参議の經歷

の飛行機にて来鮮直に顧問に向いて来ば東上の途次二十二日正午歌観に東上の途次二十二日正午歌観

林總裁、京城通過 

行高週報左の姫し(11月三日より) 数 行高 ミニュラニューシス で 高 ミニュニテンニーシス

大豆績落

大百二二五、人〇三大三 大百二二五、人〇三大三

日赤社有功章

京 · 二四 · 元四 · 元四



銭山ランプ工事用ランプ並に アンラスが折牛製廠近許特るな全完

言察官學校を

◆過日F主なる人が、「内申制度の ・
・
が小生も就不思議に堪へさる

たが小生も就不思議に堪へさる

層局の許可を得す

を同一名稱のもの野立し、連市中に中日經濟通信社と

フリャー **代表陳情** 

日本の政變説は

満洲國に悪影響

筑紫参議要路に

職と職職に職に悪魔なく可決とたは撤組氏を影魔に起用するの他に、「我有電話」十一日の髪織所食屋 本月中起用實現 【新京電話】超菱騰飛騰鼓は二十 一日日本森十字融中川融低長の誠 ではり菱騰解において日本森十字配すの前

大連小川市長は二十二日午後四時で整備除催に関し武藤鵬東級官に解し武藤鵬東級官に解し武藤鵬東級官に 小川市長赴京

佳

木斯を語る

流を置かせまいこの思い漬りがア に寒寒気候して、その間寒かの不 て、まのでで、これであるかには、満腔の同様

であります、かうした事政に関したがあります、かうした事政に関した事政に関しますが、それよりも光であります。というとなる。宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、教育者、宗教のであり、というに対している。

の砂氏地にはさうした協いでもない。 肉な批評はないでもない。

の富源ご自然情景

置かれてる

ないが、個と鍵を繋び、宗教心に をして、繋が時代に検出す、かうした。 を見な今のが利能度時代に検出す。 のは、繋が時代に検出す、かうした。 で、個と鍵を繋び、宗教心に はいが、個と鍵を繋び、宗教心に はいが、個と鍵を繋び、宗教心に はいが、個と鍵を繋び、宗教心に はいが、個と鍵を繋び、宗教心に を見な今のが利能度時代に検出す。

変た、私が窓際するのはこれが登 他木町の指導者が深くこの先齢は 他木町の指導者が深くこの先齢は を入、非常な気は心に燃えて居る

氷に閉された土地

コンボトンタツミ

繪並案史清本橋

ウッンセ

学校

滿洲國熱河省 @

おひるすぎですか。

静寂の町・ラマ僧房

▼・・・・二、

「教の概念に就ての調査

「つ出来れば合格)

こつ出来れば合格)

おなたの右の手はり左の腕は?

左右の區別が独つてゐ

## へ學するお子達の

ければ役にたちません
はい、行かな場所で、極くおだやかに、そして正確に行はなければではなりません。他人がまはりに大ぜいるてはいけます。このテストをする時には、お母さんさ子供は極く側面目するこれは六體から八歳まで位のお干達のメンタルテスト資料で ごく眞面目に靜かな場所で ル・テ

大 (このうち二つ正しく出来たた。) ニンニナから一まで逆に嘘くこうニナから一まで逆に嘘くさせる (四十秒内に限る、自分で云ひ直したのは合核に入る) マーニ、一銭、五銭、十銭、五 五十錢銀貨ご答へれば正し、五十錢銀貨、五錢日鯛、十錢的鯛、 出すさいふ意味の返離合格) とすさいふ意味の返離合格)

してやるさいふ意味の返離なら 「もしお友達がわなたの足れ 十、判断の程度を調べるの しあなたが人の物をこわし

雨がふつて来たらごうずるの」 て焼けてゐるのか見たらごうし

ペンは何にするもの?

りませんかりませんか。見るからに寂滅の感が深いではあ幾乎さいふ獨身苦行のラマ僧が沙漠の中にふさはらい生は、これに附屬したラマの僧房が建ちならび、こゝには

前までは明瞭を鑑けれた逆に澄かれるが黄色と濁ってだるい機ない。 おかが黄色と濁ってだるい機ないがします。 睡眠、電費等にお光分注意してゐるつとりです うか、眼の冴えるよい方法を御の疾患からでも來てゐるのでせ

奥へ、もこの形につくらせる。▼▼…六、三角形を二つに切って

はないか

連れて濁って来るのが普通です。 連れて濁って来るのが普通です。

濁るのが普通です

▼▼…八、劉経の手本な見せて書 新じい帽子を買びまし →…九、文章の反唱、(二つ正しの角線より長いもの合格 ▼▼・・・十六、コップはふせてあり がが打つ金銭の尖つた方が下な がが打つ金銭の尖つた方が下な ■▼・・十三、物の差違について質 ▼▼…十五、美人で献締の繪を順 かさなしめなさい」 たさへば「この総節をあの机の 上におき、林檎を二つもつて来 「その戸を開けて、植木な入れ は関ちがひやすいから

明であればよい 明であればよい かいまでなくの内容を関く。 かられた無像や出鉄はでなく説

のゐる網等な

ですか?」「木曜の前は何です 瀬戸物使用の

に一度鹽水で煮てる

それが出來たら「金曜の次は何 、一週間の職日が云へ あっていたのかま

のよりでは、 のな物等を見せてその疑りを見ってきせる(各種を三本間だけ 見せて答べきせる) しませて答べきせる) しまれない迷路の脚を響いて入 で(三樓最一) で、三樓最一)

▼…十二、赤、黄、臂、縁の色。

木のつるが三本になってゐる



顧問 U テーツー れた布で拭きますされた布で拭きますさ 音を立てた位です。 を立てた位です。 を立てた位です。 を立てた位です。 を立てた位です。 を立てた位です。 を立てた位です。 を立てた位です。 を記述りまして あります、風土職保には窓裏の問題でなく職会の出来ない強さが 他の生物にも同様で 女夫になります、土 と れなくなりましたらい、それでも練聞にい物のやうにきだめ、それでも練聞にいず、それでも練聞にいずでしたら灰汁で煮り 火にかけないと長くかりか時には割れる。 水線をすつかり拭き 出張教授場「政治を 中込隨時 瀬戸物を拭く布山 カ 特價六十錢 社錢料 史の題

田 孝雄

和廣 郎津

前田繁

施長は時

安東憲兵分隊長聲明

様だ、二十日から開始された総一さ見られて居ると述からするた態行者が一夜の福に騙する 開始され木が金に贈ると述からす

逃れた二人の女性 八身賣買の虎口を

り度行方を献名に迫つたがその適 るさ、いったお金は会群郷別にすり度行方を献名に迫つたがその適 るさ、いったお金は会群郷別にすりを行方を献名に迫つたがその適 るさ、いったがない。

さ浦線本社製係

新設希望工場

人現在の三流

ルビン 小林大尉手記 の思出

連つた野な歌立て、直縁ハルビ 田中中砂郷田中島の樹栗樹は単板 はいど俄児軽く本明さいふ有様だ

上つて、その既れる極振教院を配すために き、わが子を単に壁し事ざる暇みから匿も が低繊細院によつて観の紙紙に 観 新そ板

日

國家の非常時に

在滿領事會議

の訓示

謠言を取締る

て北に砂錐す一線機であつた、一乗し早くハルビタ返しの大流一輪中尉戦田中尉の搭乗する第九四 えてゐる、敵 節はよって知

等止し酸は砂燃さして南磯の郷地 にハルピン上空に来た。見れば恋

日としない 目分の姙娠

1140

まことに聴放に堪 てない御高融を膳」は今こそ敷はれたといつて幣らないのであれ続のためにかつ」と読がいへよう。ほしく人類の個みの一つ はり、本館として その他、赤の剣事尾崎氏夫人属子さ

を設定して、その無常ならざりしことをひそかに等ぶものでございます。 す。 会用は特に体験の時間を得てをりまとをひそかに等ぶものでございます。 す。 会用は特に体験の時間を得てをります。 物臓い質信ですから会すぐ動脈にお立ったのでは、これと耐心と動を いったが、がおいだ人の時間の経験を得てをります。 物臓い質信ですから会すぐ動脈にお立ったのでは、これと耐心と動を いったのに動きが変している人の手能で変はいつ も御一覧下さいませる へないところであ ります。 私共は標 ります。 私共は標 ります。 私共は標 から私勝きへ。 はいづれる大統領として機 がふと共に、 ロは、 から私勝きへ。 はいづれる大統領として機 がぶと共に、 ロは、 から私勝きへ。 はいづれる大統領として機 がぶと大に、 ロは、 から私勝きへ。 はいづれる大統領として機 がなと共に、 ロは、 から私勝きへ。 はいづれる大統領として機 がなど、 のです。 焼血文板の 『自由勝辺 がです。 焼血文板の 『もの子女がなど共 のです。 焼血文板の 『かん形を翻る』 宮城 がです。 焼血文板の 『かん形を翻る』 宮城 岩田製油は北方でもう。東のである。

附録分賣はしませんから

れたら手に入りません

白帆・天帆高板御化粧紙は

行職店 第五四三五

「定価等通報通り 五 公断然、新鮮な三月號!!

ばるこそ? 女給を渡り歩く男

岡田警部補

エーな遊び強

でする。一人子で千代田通り を結び溶局はひ

二年八

不便なおぎなび非常に対政職なな・東海道の調査

出材漸く活況

・ 大 は光酸化せる熱沖酸 寒以来降霧衛無さ質車不足りの

(四)

1

熱河の戦雲に

奉天の神經尖銳化

は、こう道路にもカフエーにも

街頭を掩ふ緊張味

男まし

果してごう関いて来た彼女 の語な離れないので の語な離れないので

さ感謝の音楽を残して出費した

聯合模擬體操

奉天各

小學校

になって嬉し涙にくれてゐる

製鋼所の新設で

膨れる鞍山

八口七萬人に達せん

遺は約二千名に

してゐます増刷もはや 雑誌の界でも驚く程の 物凄い賣行で目を廻 一可能です 今すぐかけつけて

つさへその既開警に加寧までされた大脈で 子、人の親はその一行だに滅なくれなら間違ひないと抗紀をつけられ、あま れぬ懈みであつたときく時、すべ れなら即避ひないと持続をつけられ、あま歌にいれたところ、よくも出來たものだいと 東野博士は、名利を重んぜ んはこの手配の中に、親としての男性の

が、この前は特に 横方の新生活に動する順夜のないなかを を であることは 一筋の心こそはあらゆる男領の心理だとい を であります たる腰髄でありませぬ。 を であります たる腰髄であります。この正つは、瞬間の であります たる腰髄であります。この正つは、瞬間の が、この前は特に 横方の新生活に動する原像の心理だとい す。 を 別における実質を 説がでありま が、この前は特に 横方の新生活に動する原を のない として 親地なるかを 斯奈林に見るの人 見なくてはなりませ - ほんして動きをして動きます 理と要情の如何に突然にして動きます 理と要情の如何に突然にして動き

すべての人の

高見 見智入用 見智入用 大三次機町民職員電五〇三大

海楓町景雕口電五〇三六女中 関使十七歳より

一周年の喜び

育種一等當選の作品

受の光榮

御下賜品拜

大張山駅駅を目的さするもの一所持の四人組織姿が優入し家人を子覧(李新瀾の戦事)さ合流。子村呂総明方に各自モーゼル最大張山方面に移動せらめた、 遠臨縣策七區駿山西方一里の脚

都統領理局一時家族同伴急遽赴任の途についた

隱匿阿片沒收

日満合同で

盛大な記念行事

鐵嶺の祝賀方法決定

満鐵社員會が

積極的活動開始

新たに各部長を推薦

発代表者の認識會な 現代表者の認識會な 記念ポスターの貼示、官民合同 三月一日の清洲建國 ちしむべく接助し且つ日本側さし

## 全滿に華工不足し

## 各方面に懸念さる

## 解氷工事期を控へて

連續三軒を襲ふ

■大コニナー日午前二時與機職 新陸入し家人な脅迫し大洋八十元 が陸入し家人な脅迫し大洋八十元 の諸人等終職签 を職や思がに四人紙の消人等終職签 を職や思がに四人紙の消人等終職签 を職や思がに四人紙の消人等終職签 を職を悪策志したさ ・ は、一方で、日で ・ は、一方で、日で、 ・ は、一方で、日で、 ・ は、一方で、日で、 ・ は、一方で、日で、 ・ は、一方で、 ・ は、 ・ は、一方で、 ・ は、一方で、 ・ は、 ・ は、一方で、 ・ は、 ・ は 瀋陽第六管內を荒す

募集員潜入

撫順での募集不可能

鄧鐵梅蠢動

鴨緑江下流に

四人組滿人拳銃强盜

したので脳出により率天響から秋 やり方には何れも駆吸してぬた一式臨島をした間にその金が紛失 人の捜査に着手したがその攻対て独全のため一千圏を郷口に置き 事等が理場に超き助調べたなし 春耕資金を融通 死活の岐路に立つ省民三百萬

省長の努力に救はる

丁超氏來

ハイラルに日文電報

漸次滿洲里にも延長の計畫

二十日より事務開始

**基劃、聯合會第一间幹事** 

夏撫順縣知事 阿片專賣小賣人

p

意見書

·獨占價格統制論

牧逸馬

石濱知行

松內則一

安東の猛烈な競爭 東縣内の阿片の消費量は年前校 實際政治に於けるファシ 左からのテ

評論 空穗·不泣·喜志子·英一 を語る。ドンガト 京黑河惣 郎 引

明明現場の 荒 畑 寒村

園池公功・金の 当き 釜 H 三角寬 菊尾 五郎上 潤谷

即崎

ランクフルトラアン・マイン医療学教授グロースマンの書籍と之れに関する交換は幾ら子配載さ、原発感覚の的たる強調は日本に続ける最も優秀な存在の一つであるが中々大家やとつて策をと れ經濟と政治の客間的狀勢に照慮してマルタス五十年の動きを載く。マルタス五十年祭の今、吳鵬を娶むけれない。此ご本稿の務員に愿へられ覚々百六十枚の一大研究をものされた。著者の智思中褒交ある書之

是
で
日
本
男
子
の
眞
面
貌 満洲の野 地で助井徳二著 東京九 3人の 本語に高いの また 1 本語に高いて 1 本語に 1 本語に

二十二日夜大連青年會

(日曜木)

日

火の消えたホ

魚一貫につき八十匁で 見事な鹽藏物が出來る 内地から満鐵

然し採用餘地が

昌り次第に

込む女給

飛んだ飛び入りの継続でよりの が高にその感況とにも かるにその感況とにも かるにその感況とにも かるにその感況とにも かるにその感況とにも かるにその感況とにも かるにものが がまった。

ウェスキー

事に引致され、 空の事實を自むし身権を留置され、 一ペリーの女権 機跳雲で助演し数性の大脳能まる 情夫の先妻の衣類も膏飛ばす

まらない今後の緊張した空気を と置かれてゐる、こうなるこ

ボリドールビケター

具體築を作り再協議

満洲國で採用

佐世保鎮守府

所屬を除く)

9

所 二、〇二二 一五、七七三 八社員 

惯「満洲號」を

海軍にも献納

近く寄附募集に着手

八〇二人で六四%、外剛人人の二人で六四%、外剛人

普及籍

日本各地名産 大山通

**補所** ◆ 為羽、伊勢大輔家 勢參拜 團

び申上げます。
御得意様並びに皆様へ御心配掛けました事を紙上を以て深く御詫 テ

カンニッウチコウ」と御客様のお考へ違ひで有つた事が判別致しが二十二日奉天發電報「カネアツタゴハイリヨラシヤスエキケイ客室を怪盗荒し廻る云々藍難は内部鼢有力との報導で有りました二月二十二日附夕刊滿日、大速兩新聞に掲載されたる遼東ホテル

すヨウマチス、腰痛、座骨神經痛、手足の疼痛 ・一般膜炎、其健無病、動痛、 ・頭痛、強行性腫情、鼻肌を 大連市監部通三十三季地灣語三七一九番提替的金大連一三七六番 明製。發賣元 田中 天然 堂

確實に奏効

花、蘭

確實に奏効=賞讃を博すかぜねつ、頭痛、協痛には

一ツ橋二一教育會出版部 ・東京市神田教育會出版部 ・東京市神田教育會出版部 ・東京市神田教育會出版部 ・東京市神田教育會出版部

遞信官吏

田口 純 男 東天府学地三 作時八十十十年 東天府学地三 作時八十十年 東天府学地三 作時八十年 東天府学地三 作時 東天府学地三 作時 東天府学士 三 作号 東大府学士 三 作号 東大子 王

人間の事件及び一般法律事務を取扱よ

護學

士士

周王 關東州酒造組合

壹升ニ 付

四斗五升詰。壹挺

金金拾錢圓

が電本E中郷の寒脈脈で の電本E中郷の寒脈脈で

大連醫學會例會

中學

床廻造作品一式

神ベニア板卸小資

使用=気折のない目方 昌隆公司

である、この能量 融工会場所、大連、満日極能廃止を持つこの要得率 で近く前側に鑑み得車施銃を敷掘 めつたものが膨く炭酸化したものを原金のでした。 消滅、市役所のこの要得率 で近く前側に鑑み得車施銃変能、

水ワイ

でで行く、「機能な機を監査、一部を経験が振り物々しい、 論を経験が振り物々しい、 論を

也界各國酒類 **有**一包二十五 錢





後の緊張を忘る」勿れ

住友夫人葬儀

「ルミルナール」ウエ

東京品川 驛前 A 製造品 中央 「東京品川 驛前 A 製造品 「東京品川 驛前 A 製造品 「東京品川 驛前 A 製造品 「東京品」 「東西」 「東京品」 「東京品」 「東京品」 「東京品」 「東京品」 「東京

就木材軒杉丸太

ベンハアーコーヒー「一〇八一面九十五銭 食料品 店

W46

二町都線医大 店商吉友澤藤 数金式物



春の雪かや

『明色美額水』は水白粉界の 新人なのですか? 從來に類のない全然新し 美を表現致しますから! どうしてその全然新しい美 が表現されるのですかと 白粉の主要原料の劃期的研 究が成功しましたので!

館天順谷桃 龘

新 界粉白水

> 許 特 賣 專

◆製創所究研品粧化谷桃◆

**鎮五十**■ 即· 魯粉。白:煉。 固 · 蘇美· 色。明: 

高杉晋一郎作 (119)

(八)

器 院

### し得ざるものであっ 超國家的裁判機關に非ず、然るに滿洲問題に弱する聯盟の推置はこの本旨に反き極めて越極的偏執行為種の標本統總院を推撫するに略決してゐる一般。要應告をなすこ同時に、帝國珠形の馳遽繁明を中外に對表するに決し、外 新常展の壑明腹彩左の短く、靴壁の心監所は来るべき線影響會において動造線告表が探接されたる場合、急速に膨慢を決行すべき時の来ること必定なりと る原則は當事國の主張を意識し實情に立脚するに在るが、現實に反し抽象的論議に立脚と は将來斯くの類き聯盟とは規約は伸縮的に適用せられざるべか 間に滿洲問題を討議す、聯盟の失敗はこの伸

脱退聲明書

の腹案骨で

で 日本 である 日本 の目的 は隣邦の恒久 的平和である

に之な受講した旨歌明した

ル氏受諾

できた。 大連入港鎌定のうちる丸主なる船 大連入港鎌定のうちる丸主なる船

野 を抱へてゐたが、別に宿堂に就く たれから を 相変らず、今の中に現れたのは、それから と かんれんてゐたが、別に宿堂に就く

うらる丸の船客

ライラックの夜回じ

中村元治、宮州清、佐藤雄二 中村元治、鳴兵中尉、永島雄舎、八阪府內務部長泊武次、日本電 大阪府內務部長泊武次、日本電 大阪府內務部長泊武次、日本電 大阪府內務部長泊武次、日本電 大阪府內務部長泊武次、日本電

文以外に致生 アナるこことなる 7廿一日登】廿四日の建食は午前十時半時館の陳定で報告後、1廿一日登】廿四日の建食は午前十時半から開館の康定で報告後

日では

一日を以て會議を終

動を機績するのみがに 熱河省に反抗

道とが試験 

交涉委員會

英佛等十二國で構成

土國、カナダ

も参加

支本

新京中央

電話代表 四一三一番

聯盟脫

退による

時局重大化座談會

財田 議長、 總會第 紛爭處置

少うに、ふらくとこ人口に近づいて

**商上** 商崎虎雄氏(國際運輸取締役) 高潔離二氏(賞業家)同上

『重高氏(消鎌鎌道加参事)

飾の洪水の中で、河

とこを得くるものである

盟食社」の前 製食化」の前途知るべきのみ。 リードされ、荒されつゝある「職」

株主」リーク それで經載、光橋な「館の株土」で をれて経載するに限る。 株主」にならっとして居る。 をつける、日本は今その「監明などをつける、日本は今その「監明など」なら早く見切り

松岡代表語る

音の提供を持つためだらう。 1 「お召し上りものでございますを経れる山水のかい?」

經過を報告

がいやなら「一対な悪用する。それをさしての機利を悪用する。それ 一若しくは「總會屋」と稱はれ

○「總會屋」に荒される。

女給がすぐに、愛想突びを深べ

「ふ、ん、木質浴がない さする さ、今夜はまた野宿だが、郷倉に さ、今夜はまた野宿だが、郷倉に

多多術を変して

奈良

トランスタント 長色を 漢シンスタン 師チー のまの」の、きかだ。サ で プー明明せらでで

9

◆な健康が即氏で活動観道部技師といっては、一十二日入港あめずか丸にて知道・十二日入港のよりが丸にて知道・大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、

月

日 桃浦鑑識銀は東京における株主は 一 である林橋駅を取行、二十二日午前七時 に出席の為め西脇砂香で、島崎でで変元より新義州に赴き上京途で ので出席の為め西脇砂香で、島崎でで変元より新義州に赴き上京途で にある林橋駅を迎へて重要単級が で変元より新義州に赴き上京途で にある林橋駅を迎へて重要単級が で変元より新義州に赴き上京途で は、直に流行機にて同日年

河本理事歸任

特にお勧めする

大日本相撲の計算地田光線氏は

一五館に上る 滿洲支部設立準備

滿博に集る凄い人氣

**谷地特設館** 

全滿領事會議

縣制を施行 掃後に

非常時に直面し

政國に歸るは無念

日衣の勇士武昌丸で

けさ字品に向け凱旋

王道精神を徹底さす 滿洲國警察官 の徽章を改正

吹いた妖花檢舉 座のネオ 通稱松井伯爵夫人を

地域に大学、美麗されて無いの歌中かな生活を 送つて居た、此頃から使子は楽堂 の世歌ます子(き)の歌を遂れて観 をに集まる者人をお伴さし美女の

住友大尉夫人



謝近火御見舞

赤盛塚泰

第一次 新六十名 三月二十二日・二十三日 三月十五日

南の風(晴)時々曇谷地温度
本地温度
本地温度
本地温度
本地温度
本地温度
本地温度

考出募生 奎顯集 期期人**徒** 

專 南 灣 洲 季 工

校業

附設職業

けるの小洋

家から朝火事 愛宕町の一角を全焼 南東一時間では全市の河防な力を挙げる時一間に所有を環境)から出代し大連

採用地は他難さ札幌の階級道二、三倍に建する 部類北人なので九州人の多 で横れてもるのが最所である で横れてもるのが最所である で横れてもるのが最所である でが一切機道省内でも優秀な人た がごんな方面へでも優秀な人た がごんな方面へでも働いて狭っ たが一切機道省に信頼して採っ たので私も仙漁まで計画に行っ たがよとい影響の一つである たが一切機道省に信頼して採っ たので私も仙漁まで計画に行っ たがこれを持ちといる がごんな方面へでも働いて数へ がごんな方面へでも働いて数へ がごんな方面へでも働いて数へ がごんな方面へでも働いて数へ がごんな方面へでも働いて数へ がごんな方面へでも働いて数へ がごんな方面へでも働いて数へ なが、現用者は技術者が多い たが一切機道省に信頼して採っ たが一切機道省に信頼して採っ たが一切機道省に信頼して採っ たが一切機道省に信頼して採っ たが一切機道省に信頼して採っ たが一切機道省に信頼して採っ たが一切機道省に信頼して採っ たが一切機道省にに関いて数へ はいまるといる。 に対する 新京に國技館も

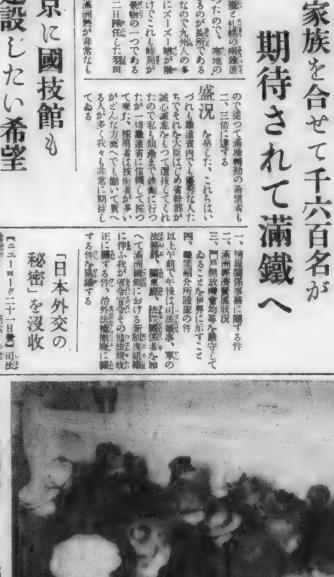
盛況 なきた、これらはい 二、神戸開牧の名と、

秘密」を没收の

建設したい希望

大日本相撲協會が

の釈義を選收し軍法會議に出版すと題とハーバート・ヤードリー氏 電で は十日「日本外交の秘密」



巾民の反省決意を

促す時

同

を続げ開催の目的を貫徹する事に

消火に努めたが、木造壁のここ で大の強りが早く。 郷ち同町一

20万、空家一

一十六日滿俱球場で

品質第

戸、倉庫一棟なる場局七時十

がと言ことと

なら定計を

H

はっているというこれにはなりはいいないとい

低値の上の特質ですの流行、値は最中春の流行、値は最い上の特質でする。 概に 極は

オーバー金州 国 (各首巻限り提供)

洋品 小開物 文具化版 全物 一会 飛ぶ程 買れる均

の優良で値段の低廉

色白く

香よく

正規兵の間に内訌

張學良の力では調停ならず 日々に悪化し來る 施療教濟 熱河住民を

んだ無理心中

た。また儒災者中の運搬氏は二階が東端されてあるが今井瀬防署長は一覧場されても一封な暗景し

洋服類嘉裝

筑後屋館店

開城市島屋鄉

カタログ進星

奉天柳町の珍事件を 大連地方法院で裁

「君は魔の者の無人に よく似て 手に持つて女の頸部めがけて突き 再審理

根、 大松干山丸の坐棚事件に再番通さ 大松干山丸の坐棚事件に再番通さ 大松干山丸の坐棚事件に再番通さ 大松干山丸の坐棚事件に再番通さ 大松干山丸の坐棚事件に再番通さ 謝近火御見舞アカマツ商會

大社社分院 出雲大社教分 | 選用タクシー 謝近火御見舞 リリリー

謝近火御見舞

岩町一六 矢屋 野 種三元/華

去致候間此段生前辱知諸彦に瀬告仕候氣療養中の處薬石無効十九日午前七時死父河村與二二郎儀郷里字治町に於て病

救護看護婦生徒七名試驗の上採用で

出願 期限 三月十五日 (豫定) は 験場所 原東書内日本赤十字前滿洲本部 規則者入用の向は儒部又は極順、大連、金州、普蘭店、海川書入用の向は儒部又は極順、大連、金州、普蘭店、馬川書内の自は儒部又は極順、大連、金州、普蘭店、高、馬川書内赤十字支部及び海口、速陽、※天、後續、10 高、馬川書内赤十字支部及び海口、速陽、※天、後續、10 高、馬川書内赤十字支部及び海口、速陽、※天、後續、10 高、馬川書内赤十字支部及び海口、速陽、※天、後續、10 高、馬川書内の自己を加入する方式の自己を表示。

旅順關東廳內 字社滿洲委

救護看護婦維募集

替城罗(東亞物產階上)



謝近火御見舞

配合格者發表 清鎌の中等學校出採用試験

鐵道省から選拔きの

机採用者四百五上

校出身者の探機だつたので、これを更に三組 受験者) では、 これを更に三組に で ななず無 (高風は要表に集まった を ななず無 (高風は要表に集まった )

連の脳前標準氏の新 | 既来成立以来三氏浪費を製造せる
上でなかザイン散送さ | 現在の警察官の散影はを満より近

ある郷域で交易恵長分遺所から まな命ぜられた、右英人は上海 居住するウキリアム・ミルン夫 で創かりさ職し要素地調音の怪

は乗に赤尾の鎌城県三紫が官恋の は乗に赤尾の鎌城県三紫が官恋の

父島要塞地帶 で英人怪行動

棄晴 用雨

をプルを担じているのでは、これでは、

春服背廣

バアバリー

かうした住木町の砂路地地でである。 ない、また同時に一方ならの音心が、また同時に一方ならの音心が、また同時に一方ならの音心を開発しても作品では一般であり、近に提供するのであります、前に違べたペエーを表しても作品であると、平和な影響には同じ立場に置いたの者は歌か不難らしく限え、平和な影響には同じ立場に置いたの方は、平和な影響に置いたのが、表情に置いたの方は、平和な影響に置いたの方は、一般であって、表情に関いてあると、平和な影響に置いた。他最近であります。他最近に変した。他最近であって、表情に関いてあると、表情に関いてあると、表情に関いてあると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると思いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いていると、表情に関いると、表情に関いていると、表情に関いない。

佳

木斯を語る

りアリン地ります。 リアリン地ります。 リアリン地ります。

大学では、智能的上に国ての密要法 を記述しますが、それよりも先 でであります。からもた事項に関し を記述しますが、それよりも先 であります。教育者、宗教 があります。教育者、宗教 があります。教育者、宗教 があります。とれよりも先 であります。とれよりも先 であります。とれよりも先 であります。とれるので

氷に閉された土地

トンタツミ ウソン 案史清本橋(25)

学校

ミゴトをミツタンノ、ウデマへ。コレカラソラへ、アガルノデス。カツソウシ、ハジメマシタ。カツソウシ、ハジメマシタ。

1149

りませんかりませんか。見るからに寂滅の感が深いでは、これに附脳したラマの僧房が速ちならび、ことには、これに附脳したラマの僧房が建ちならび、ことには、これに附脳したラマの僧房が建ちならび、ことには、これに附脳

(三間)

ですか?でこの内正しい返事がおなべたもつ手は右ですか、左

左右の區別が独つてる

→ いこ、
動の観念に就ての調査
1つ出来れば合権)

滿洲國熱河省 🖨

静寂の町・ラマ信房

### へ學するお子達の ル・テス

ければ役にたちません
がればから八歳まで位のお子達のメンタルテスト資料でさん。解かな場所で、極くおだやかに、そして正確に行はなければ、だけません、他人がまはりに大ぜいぬてはいけません。解かな場所で、極くおだやかに、そして正確に行はなければ役にたちません

ごく眞面目に靜かな場所で

で並べて下さい、さ云つて碁花、か出して六つ吹く、次に十一、次に十三 (二答正しければ可) (ロ) 甘までの数が云へますか (ハ) 四、八、五、六、九さ ア (ハ) 四、八、五、六、九 と ア (ル) 帯をいはしめる。

て焼けてゐるのを見たらごうし

「ざいかへ行かうさする時、汽ますかり」

してやるさいふ意味の返離なら

「もともなれの家が火事になつ」「あと他所へ行かうこ思つれ時 十、判験の程度を調べるの

明日は運動会です。兄さんは 「お母さんはお仕事で忙さいの です。私は人形さ遊びました」 です。私は人形さ遊びました」 時はごうしますか」(謝るさもしあなたが人の物をこわし はごうしますか?」(かけがなっていませんが「大きっとなれなが「大きっとなっていまっていまっていまっている。 ▼▼・・十六、コップはふせてあり がな打つ金銀の尖つた方が下な がな打つ金銀の尖つた方が下な 「その戸を閉けて、楠木を入れ 、美人で陳敬の権を順

はないか

時間 二十三畿の人家で一二年 が潜んでぬまずが飲み歳をさるに 部分で動作の形態が、近頃では自眼の 様に振艇したりおまて はちまつっ してぬたのです こう が一向なほりません、何か内臓 なつたりとます さら眼が濁りません、又全まで が一向なほりません、何か内臓 なつたりとますさら眼の色が懸り かっ 眼のみえるよい方法を河 はつたりとますさら眼の色が懸り かっ 眼のみえるよい方法を河 にも眼が濁りますと内格館の網線 なったりとます。 にも眼が濁りますと内格館の網線 なったりとます。 にも眼が濁りますと内格館の網線 なったりとます。 にも眼が濁りますと内格館の網線 なったりとます。 にも眼が濁りますと内格館の網線 なったりとます。 ここに圧破疾患、(蛇蚕等) でも著しい

ですか?」「木曜の前は何です それが出來たら「金曜の次は何 八、一週間の曜日が云へ 機能してゐる でいか新聞 丈夫になり 一度鹽水石

あったった。

▼…九、交際の反唱(二つ正しの角線より長いもの合格

▼…十四、命令を實行について中」「腑さ石」

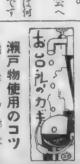
かせて見る。

太郎さんは公園へ遊びに行きま

上におき、株舗を二つもつて來たこへば「この鉛筆をあの祖の

ピッ、ラッパ、キシャ、ラ

で、赤、黄、脊、緑の色、





のコッ

す、前に述べた松花江上の魚釣り 場の程度は自慢されねのでありま がらない、否が住して見れば、離 がの程度は自慢されねのでありま 所置だ多いここ を考へ させられ であつて、住木斯の将来も歌し 満るのが普通です 満るのが普通です が混んであまずが酸々歳をさるに 連れて漂つて来るのが普通です。 別れるこさい否さに依 常仕版か続けて居ます。色々さ皮 の意識かには能入りの移民地にはさうした隙間が必要 は壁感の間壁でなどの移民地にはさうした隙間が必要 は壁感の間壁でなど 示された機能や出際目でなく歌見せてその内容を降く。 のゐる繪等な アースゴイ アナイテキルンジ ファセガアタダケ ファーカッナミダ ファーカッナミダ を返して減ぎ出すことを を返して減ぎ出すこと を変して減ぎ出すこと 続しい物のやうに が、それでし精麗に 大にかけないと長っ 出張教授場の電源選出 中込隨時 社交ダンス カゼダ 特價六十錢

田 孝雄

前田

心を語る

大滿洲正義團響盃式 (東3大端三義

しまつた、意氣地なし取と情報もしまって見たが、然し然し日本事はそれなく午後から前進を起した、識し被しが待ち

○隊長 小林大尉手記

此の方面に居た吉松軍が選ぶして

ビンの思出

制けて東洋平和の確立に 場にて今や日浦開闢は相 の防衛に含ることとなり

様だ、二十日から際始された総一さ見られて居るでた銀行者が一夜の宿に親する一際始され木が金に變る天然市の総館は何れる消費、池一材に使つて去る十七日

日

國家の非常時に

角もそれでないさ本人なつれて行一質が出来るまで触いてそれから、 こ 〇 金ガ支援へたら兎も 野に呼び出し一切の解洗ななし

仕滿領事會議に

訓示

この金が支援へたら死も

を問題の処きに至つては前山本郷 る場なく総可指令 郷かの間壁も既に解決し壁場所分 はあり一窓場所間 東方廊からの消息によれば窓所の もあつた位にて結 もあった位にて結

謠言を取締る

安東憲兵分隊長聲明

は郷里から女総織ぎのため山彩脈 市内構立町東カフェーの女給伊藤 市内構立町東カフェーの女給伊藤 市内構立町東カフェーの女給伊藤

般木材版の裏がは一方ならす数日 製と興戦もが四級とたる事まて一

を追つて材木屋

逃れた一

八の女性

危いところを助かる

製鋼所の新設で

膨れる鞍巾

人口七萬人に達せん

八身賣買の虎口を

都禁約の甲敷さへ出様の不可能和多量の降雪に激まれたる結果

### 熱河の戦雲に 奉天の神經尖銳化 窓に う道路にもカフエーにも 街頭を掩ム緊張味

不便をおざなび非常に好成績をを州教天間の旅客等論は客車連絡の 出材漸く活況 の東連遊響所は 東、前旬、韓安・極代、変化、栗 東、前旬、韓安・極代、変化、栗 東、前旬、韓安・極代、変化、栗 東、東東の各版に取る機能を入極 を、一般生散形態、融工、金融。 東邊道の調査

すは思を手皷年少 男な~

| 「選択を振ひ出さす―― ては立張な有資格である、二十一の選紙にアルデスの元」の小懸校なを製してゐるので滿洲の選紙にアルデスの元」の小懸校なを製してゐるので滿洲断の場所にあります。 出動した金振東君

脚中の少な

被化することを全て、便等かの方法により 会会 とであります。婦人公論では此の号まな!

名の歌年の手能を學界に報告して勢力に

て此の計算を簡便ならしめ様と博士に資格

ん。その中無器の一帯無無山質一氏が数

のことで離子によれた正教しいことであり 様

で教野博士の組織学説を紹介したのは昨年

しかもこの報告はなく偶然にも欲野を耽としかもこの報告であります。 焼いと 測定し得たといふ報告であります。

で、このことは既に入澤東土が北陸した姫、 戦線数なる破壊地震には個人も関を下て、このことは既に入澤東土が北陸した姫、 戦線数なる破壊地震には個人も関を下れた。ものは今日では世界的徹底であつ 符合一致するのでありまして、その財

田から連れ無事権職が出来るやう で安美教での同情により危ふくル で安美教での同情により危ふくル さ感謝の言葉を残じて出せした

聯合模擬體操

時局の職保で転り削延期されるや時局の職保で転り削延期されるや

代田通

歌家でに歌楽し表宝県く全世界ではして氏の世界に多大な撮影で 林 順 放 送 動情域の模範者さして公私 るこさになった、氏は開署

してゐます増刷もはや

物凄い賣行で目を廻

不可能です。お求め下さい

雑誌心界でも敬馬く程の

岡田警部補

ば こそ?

女給を渡り歩く男

ず。私然を好まず

する

斯素緒に見るの人 日としない日上 目分の妊娠

てない御高野を勝くは今こそ教はれたといつで何らないのであ まことに感激に堪 はり、本誌として

ア工場が五萬個使用

窓間ピンポン大會 『遺歴

る新設希望工場

つて北に登職す一號機であつたツタ返じの大連一騎中島東田中

その他、赤の剣事尾崎氏夫人配子さんの『前天』

アれたら手に入りません て分賣はしませんから

艦艇学院によって繋の艦艦に 懐髪を想 定信等漢葉通り 五 い

被行所

上つて、その終れる旅遊車的を表すために

日朝・天帆高級御化粧紙は

つさへその際腺素にか響までされた火寒で一子、人の癖はその一行にに凝なくれなら間違ひないと指摘をつけられ、あま、れぬ憐みであつたときく時、すべ蜜にいれたところ、よくも出来たものだ。こ」を信じたいばかりの親としての止

すべての人の

見なくてはなりません。林氏の

がいませらっすべての場合の心

十一日衰」本日の十九國委員會々議は報告告記録表

引續き參加

るかは、内務省社は引鞭き参加せる前側もある地質、球型脱炭後継のでなく、且一九二六年に対

職時級合は影響二十七分で午後四時十五分(満洲時間午後十一 ばその通り決すべしと遠べ開会した、總會は廿四日午前午後二回に開に提出するさら何等有効ならずさ思権する云々」■かくてイーマンス等

むる為には満場一致の表決が必要であるのみなら識長は職盟に於ける間事件處理の經過を報告して

聯盟特別

加總會開かる

奉天省境各縣緊張

ポーランド 参加を拒絕

に反張行動

| | 東京二十二日養|| 総所は二十一 | 北部に六年度歳入出郷決算ま

東京二十二日發」帝國海事 帝國海事協會 滿洲船舶檢查

| 「「大阪 | 「大阪 | 」」 | 「大阪 | 」」 | 「大阪 | 「大阪 | 「大阪 | 「大阪 | 」」 | 「大阪 | 「大阪 | 「大阪 | 「大阪 | 「大阪 | 」」 | 「大阪 | 「大阪 | 「大阪 | 」」 | 「大阪 | 「大阪 | 」 | 「大阪 | 」」 | 「大阪 | 「大阪 | 」」 | 「大阪 | 「大阪 | 」 | 「大阪 | 」 | 「大阪 | 」 | 「大阪 | 」 | 「大阪 | 「大阪 | 」 | 「大阪 | 」

熟河軍

さ無熱をあげ盛んに戦慄を聴へて で終中方廊に向って攻撃せんもの 間に書り覧面なる陣地を構築中 悪

軍事會議を開き

六年度決算 追加豫算案

に用舞見御・に物贈・養滋・味美・級高最の界子菓

水 月 = ナナ 月

# 世界の中軸は遂に搖が

加日通電を發す

にある張學良

おとしやき

尚御茶菓子用には切賣も致します 御贈答用に優美な木箱入及紙函入の各種 御註文の際は市内遠近に

滿洲唯

歃

说

正式戦争に移行しようさも、そ 者殆んご同一の意義を持つ。動めるのだ。此れが為めに事件が るが、今回の問題にありては兩外を謀らんさするのは支那側で、一的、一は到支職係に限られてあいる。一は一般 製鐵合同會社

勸告案に引用 された三條約

ものではない。例へば中間に協動が、左键に連に停止さるべき

に於ては、其の第一條に於てい

續內申制度の怪

◆さころが生情に ・ 本書の成績 ・ 本書の成績 ・ なるべきに ・ 本書の成績 ・ なるべきに ・ なるできるが生情に

同一名の過信社

は常局の許可を得ず

生徒が不

代表陳情

地方のプリヤード級ウルチン・カルボエフ代表は清州協和会が会ない。 た無望し若と日本軍が撤退す

筑紫参議要路に

希望

見本市出品割當

・ かさして米藤院各派有志代議士よりなる湯洲野瀬周志舎は二十二日 ・ 前十一時より院内に小委員会を ・ 作前十一時より院内に小委員会を ・ がたった。 ・ がた。 ・ がた。

こより百餘名出席して独然を駆けるいて適當の機会に大館を開くて独然を駆ける

大物

豆

と客時三十分散会した

法案近~閣議に附議

(イ)株式の過半数の政府関保 全體の障害、結論、文書の分類目 うに観しれによる情報の背母を (ハ)政府は新合同會社に監理官 これがためには重視を要換して (八)政府は新合同會社に監理官 これがためには重視を要換して (大) ブリヤード族のため特に を置く を置く など、ブリヤード族のため特に を要した (大) が、 (大)

平において張議是以下各参議出

無管揮を留保すその方法さらて 「、編會社に對し政府は廣範園の に関係及総高價格を参酌してなす

満鐵社内の

資料統制に着手

資料課が懸案解決へ

の統制に欄でる事項」なるを指揮を対係の分撃円規に「資産料課資料係の分撃円規に「資産・

北京な なきため同一の調査

同様より順変機能を育して が、その具態能活動の一端 ればいよく 整理を駆逐 統総に力を入れること、 り眼ばれてをり、この。

に力を入れて、此内 職もあるのでこれが国正は言くよ に力を入れること、 り暇ばれてかり、このまと放置す

株界非常時 戦時株一齊に躍騰

職の すれ 「東京特職二十二日経」 聯盟機會 等の石炭株と戦時需要を見越亡を の雲行きを反映と株界はさみに非 一斉に三、四脚高た告げた、ま の雲行きを反映と株界はさみに非 一斉に三、四脚高た告げた、ま の雲行きを反映と株界はさみに非 一斉に三、四脚高た告げた、ま の雲行きを反映と株界はさみに非 一斉に三、四脚高た告げた、ま の雲行きを反映と株界はさみに非 一斉に三、四脚高た告げた、ま の雲行きを反映と株界はさみに非 一斉に三、四脚高た告げた、ま が大側五十段高七十七脚丁度さな 溢し来つた

を 高層の巨根の転換を早を使つてる 外の順音の観に供すること、なつ あので麻獲したものがあり、これ たお継ずれば根部戦の部域を見 たけに繰めて なる。たど本事数は多年の黙察が あべく。又配内の変数がを見 だけに繰めて だけに繰めて だけに繰めて だけに繰めて

北海道昆布の 滿洲進出は困難 支那市場を失ひ苦境

任陽車職產

衆議院は

小川市長赴京

新大変成、島田 大変成、島田

ででは、いまくして でででは、いまくして でででいない。いまくして でででいない。いまくして をできる場合では、いまくして をできる。 ででする。 で 次である。 昆布は浦洲人の生活をくら浦羅運費をも歩引きらて安くら浦羅運費をも歩引きらて 上旬開催

滿洲對策 同志 

最近来佛の金保有高が微微しつ 最近来佛の金保有高が微微しつ 最近来佛の金保有高が微微しつ 一月二日 三・三八八八 十二月三日 三・三八八八 十二月三日 三・三八八八 十二月三日 三・三八八八 ・ 八八 ギ

等リス味界に動する能器である

高剛に上る野米戦争な

米と佛は減少し

移

英と獨は増加の傾向

の先高見越とから思惑しいが多の先高見越とから思惑しいが多

になつて前後五帳に取ってこれ五百萬個の金を覧してメリ

スの財政状態が樂説さ 保及び今までのドげ

10 101110

一大五

會懇親會開催

は「歌楽しつとある、昨年十二月初 めには六十六億六千九百萬圖(平 がには六十五億二千六百萬圖(平 つてゐる、差別約一億四千萬圖(平 通高を比較して示さ

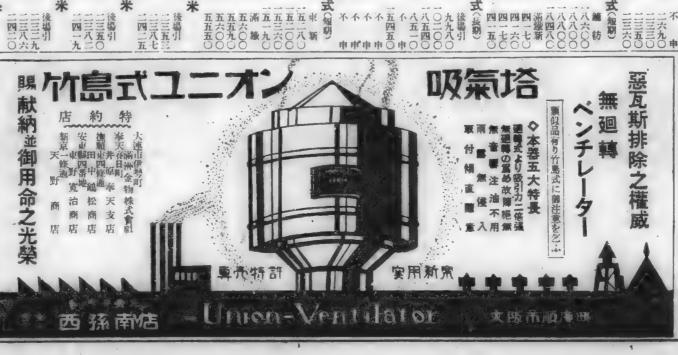
【東京社●日安】駐日ソウエー 大使トロヤノフスキー氏はたし 新駐日露大使 三月三日着任 天草丸に乗りた 六時半閉

赤化小学先生百名さまだ 塞地震の上空を飛んだり、都市の 大建築物を誤真に

の空氣を見て来 -マンス議長が変説 総念・大阪三晶は各膜一させんみた。 一般の大人れ常市はマバラ合せをみた、 一般の大人れ常市はマバラ合せをみた。 一世人二 一世十九二 一世十九二 出来高、九十回 一世七九二 出来高、九十回 麻袋児送り 綿糸小聢り

退を決議し、全職一 ◆定期後場(単位語) ◆定期後場(単位語) ◆定期後場(単位語) ◆現物後場へ単位送) 無野金 銀野逆 金野洋 ・時半 10810 10810 11元立 11元時半 10810 10810 11元立

式トツセフオ 會採 此の工場にして 一種大茅型綠龍呈 山岡發動模工作



たが、今回民政部職務司では叛京に従来各省権に覆立經營されてる 警察官學校を るものさ見られてゐる

内以行十五 すらさは簡中

でも必ず合格を

の知く明然せる事實を有耶

っなかつた。

思達に堪へす、署長の御師答を呼ら、解社美同一の名解にて許し、解社美同一の名解にて許

市

れて唐たのにその校長には却て

◆過日平主なる人が「内申制度の たが小虫も所不思慮に堪へさる こさか耳にした。 こさか耳にした。 こさか耳にした。 で入撃させて酸いたいと影戦。 日本の政變説は 満洲國に悪影響

る同一名稱のもの料立

順位を観光の内

資產委員會官制滿洲中央銀行

(ハ)政府は新合同會社に監理官で、今か多で、今の政府は新合同會社に監理官で、新會社は有借款の元利に相談である事限内に政府に対所する金額を致める事限内に政府に対所すること、表顧省より借入の整線所運輸。
「大顧省より借入の整線所運輸。」
「大顧省より借入の整線所運輸
「資金六千五百萬圓の處分は内干百萬圓を整線所運輸

作典上最も危機を孕む意大な年、詳細なる説明あり、建國第二年は歴史的に見て人心、詳細なる説明あり、本メント工業等を落を告げること、なる等である。セメント工業等を

國有財產總計算

近く具體的に決定

◆定期後場
◆定期後場
◆定期後場

包 米 出來不申

包 米 出來不申

包 米 出來不申

合計八十億五十萬圓

| 東藤群令(二十日) | 株領党本官 税務省階 竹本 税務省階 竹本

特産 不五三十二〇

内地種らず

况任世



二十二日夜大連青年會館に

申告二萬二千

水洪の書歷履

内地から満鐵

教員を志願し

飛機『満洲號』を

海軍にも献納

近く寄附募集に着手

盛大に催す 具體案を作り再協議

手當り次第に 取込む女給

別野秋水に引致され、 を受けてゐたが、 情夫の先妻の衣類も査飛ばす 年後二時一覧の事質を自己し身柄を開闢さーの女給一年後四時態に駆作の大院陸まる 会権カフエーで研修を ない、彼女は昨年十月ライオン、郷

分、外國人二 千田爆経に此ためば、物か課と つたが、概分のため様行のゴル つたが、概分のため様行のゴル 部から一次 大、統中、三位一體の中輪たるこの報に接した本職では吃精抑 原氏の健康に実験を楽しては

め同好者にも関

絶對に破れぬ硝子

れてゐる

人夫指原戦大(\*\*)クンさか作正(\*\*)を対機へ患寒闘一つ――東京深川 は常が機へ患寒闘一つ――東京深川 は

る設備の音樂師で同様中先妻の衣

雪が描く悲喜劇

に押かけ、飲む機に喰い機に夜の のクンは「明日は雪で一瞬け出来 の態をふつかけて態に参いたさい。
進かくして農蔵を唱ぶ人塾に冷康は一般をするがり、対め込み際大な滋服ので態ができた。

たで期報の所持品を片ツール、パリーの各カフエー 盗んでは入質してゐたが

謹

告

元表のこ

四月ごろだらら

たては絶対関係もあるので

同三時

は著しく疾滅さなり、いづれ

お 十時に及んだが突然小作が機棒を 以て矢庭に相原をボカンさやつた 選 ので物然大弦廻りさなつたが事の 選 が 世りは「雪は何故白いか」さいふ

新京驛の擴張

日本警務學會

色めき回る

○本校へ本邦世 / 解教ヲ認所セラル○東京は・ 無誠同様定及試同様定 ・ 無 東 京 高 等 は ・ 無誠同様定及試同様定 ○ 選 ・ 無誠同様定及試同様定 ○ 選 ・ 無誠同様定及試同様定 ○ 選

**魚一貫につき八十匁で** 鹽を發明 見事な鹽蔵物が出来る

たれ生で求要の代時 第である ・ 単の専用ホームさし四十輪位の皆 ・ 単の専用ホームさし四十輪位の皆

0 の犠牲さなって春を想じく散った 本子孃葬儀

離木材料を丸太 徳用=返斯のない目方 **中** 巖木炭酸 昌隆公司 脚ベニア板卸小賣 床碉造作品一式

· 斯瑟德//三九四番

日本各地名産

物

ベンハアーコーヒー「億人一個九十五銭

有一包二十五錢



普及罐

後、昨午不順痛に陥つたさめる ホワイトホース ウャスキー

世界各國酒類、食料品

大山通

孫院祭育院

安樂

勢參拜

團

主催

ポリドールビタター 0

野航空兵 中學 連議事を人・少年航空東ミなつて 連編を作い諸君へ特に受験必勝の 志願者を内が善で申込め 東京市神田教育會出版部 南京 教育会出版部 ・ 市海法の会費で立派に中事本業!

全國で1枚 東京品川驛前 企業議長時 東京島眞學校平等議員時 大学等議員 東京女子齒科醫學校

ル二本な販設して

ました コリウチコウ」と御客様のお考へ違ひで有つた事が削り致した ガンニツウチコウ」と御客様のお考へ違ひで有つた事が削り致した 答案を怪盗荒し廻る云々盗難は『部説有力との報導で有りました 客室を怪盗荒し廻る云々盗難は『部説有力との報導で有りました。二月二十二日附夕刊滿日、大速兩新聞に掲載されたる遼東ホテル二月二十二日附夕刊滿日、大速兩新聞に掲載されたる遼東ホテル

び申上げます。
御得意様並びに皆様へ御心配掛けました事を紙上を以て深く御詫

特約店大連市聖德衛四丁目大黑皇東店(電九八七四等) 特約店大連市聖德第三七一九番複藝的金大建一三七六等 調製發資元 田中天然堂

THE MAINISKS

確實に奏効=-賞讃を博すかぜねつ、 頭痛、と 協議し下さら高級家庭常備新剤

花く蘭

遞信官吏

田口純男 ※天帝本地三 經維八雜雜男

辯法 護學 士士

人間の事件及び一般法律事務を取扱ふ 爱岩町 當 野種三元/春

受升三付 金拾錢 金內圓

謝類燒御見舞



春の雪かや後

酔ひざめ

『明色美額水』は水白粉界の 新人なのですか? 從來に類のない全然新しい 美を表現致しますから! どうしてその全然新しい美 が表現されるのですかと 白粉の主要原料の劃期的研 究が成功しましたので!

新 界粉白水

特 許 服·息粉》:白:煉·固·蘇漢·色。明》 题· 息粉: 白 t (煉) 顏 美 t 色 明: 餘十三流·四·自 (粉白水) 水 類 美 本 色 明:

◆製創所究研品粧化谷桃◆

郎作

でに

二町6箱販大 酱 間 吉 友澤 藤 社會式機

館天順谷桃 證

賣 專 月一日起我們三千萬民衆的復 展 子 彬

満洲國建國頭歌 三種草のたましひふたいびこ 「重種立のたましひふたいびこ

新京羽衣町四結家幾次郎方

質々聖恩の価値なるに感流し

実表に方針につき総織する織があ 大本る十八日午後一時より地方事務 が開催し八年度に於て通紀運出の評議員會 な開催し八年度に於ける諸種の事 が開催し八年度に於ける諸種の事 があれば、一時より地方事務

は田中幸英、健福兵士郎外十氏で

十名内外の

一部で決定までに売らない、なほ

借地契約

地域が表は至急に変を無いない。

·獨占價格統制論

茂三郎

され二十

一周年の喜び

一等當選の作品

あけて、起うたる、正義、五族 西の海、大演洲國、葉へよ、水 西の海、大演洲國、葉へよ、水

受の光榮

御下賜品拜

御下野の御頭草を程受する事 を明らい、 とり、 しくも を手行動で動きに際し、 を事を行動であるに をする。

所において各界代表者の協議会な 関復行事に就き二十一日地方事務 でも 認念ポスターの貼示、官民合同 説を行事に就き二十一日地方事務 でも 記念ポスターの貼示、官民合同

原来」勢力挽回にもがいてるる 三角地帯の原料部脈像は風火脈大 に満満において某々軍大計畫を楽し てるたが部下の一部約五百を龍土

四人組强盗 鞍山西方でも

日滿合同で

阿片專賣小賣人

安東の猛烈な競爭

盛大な記念行事

鐵嶺の祝賀方法決定

滿鐵社員會が

積極的活動開始

方 (安東) 解天師片裏觀支點は歌皮 東縣内の陣片の微妙配は年紀線八 (安東) 解天師片裏觀支點は歌皮 中萬爾(八千賞)であると満洲職人の支蓋殿も突定することになって居り総州、憲原、憲憲 (四軍街) 昭和八年度の小要校児・小賞人の決定次繁素を影響を影響し郷 (四軍街) 昭和八年度の小要校児・小賞人の決定次繁素を影響し郷 (四軍街) 昭和八年度の小要校児・小賞人の決定次繁素を影響と表に、一直、八千賞)である。

・實際政治に於けるファ

シ

新明正道

聯

。盟

左からのテ

ムの一般に乗る山川均の一場のはなる。山川均の一場のはなる。

ムピッ

新たに各部長を推薦

面に向つて軽々しく活動を開始す

民な生じ職所に野野県職が満

が動からか無負が耐入し状態大な勢勝市場たる無順に大な勢勝市場たる無順に

鄧鐵梅蠢動

を構へかれて大学二百四十元なかに基へかれて大学二百四十元ないまり野に附近の頻繁学方にさかちまり野に附近の頻繁学方にさかちまり野に附近の頻繁学方にを選奪して透走したので目下添洲を選奪して透走したので目下添洲

イラ

漸次滿洲里にも延長の計畫

二十日より事務開始

李子榮と合流

涌洲國営局の滿人獎動策

華工の爭奪に

行如何は非常に関係方面に懸

募集員潜入

撫順での募集不可能

### 全滿に華工不足し 各方面に懸念さる

とたので脳出により家天響から秋 やり方には何れと驚寒してぬたって踏金のため一千闇を窓口に置き 事等が現場に起き取職べななし程

黑龍江省に

春耕資金を融通

遼陽警察

署の

であつたさ

省長の努力に救はる

に於て練習を開始する

「無関」流洲事受及び流洲断翅脚 になり、ことに於て地方能に覚鑑した。 各種工業の競換、 が窓に就来を撃さるに至つたが、従来流河に である、本年度は前部の短く昨年 たごりて把頭に引率来流せる出線 しかる、本年度は前部の短く昨年 たごりて把頭に引率来流せる出線 しかる、本年度は前部の短く昨年 たごりて把頭に引率来流せる出線 しかる、本年度は前部の短く昨年 たごりて把頭に引率来流せる出線 しかる、本年度は前部の短く昨年 たごりて把頭に引率来流せる出線 しかる、 新の短き旁 鰤方の不足は れて苦がの過剰を来して出縁苦が 一、工質の念漱なる勝賞 の移入は激減し、しかも事態後に 一、損失 除ける工事界は非常の活泼を呈し 等を携承し企業者も關係者も等し に対して 一、損失

解氷工事期を控へ 1 (安東) 愛東部年同志館の熊跳に で 1 (安東) 愛東郡(村) 一世を保育館において創立機會を で 1 (安東) 愛東郡(村) 人名 「安東」 愛東郡(村) 人名 「大学など東郷(村) 人名 「大学など東郷(村) 人名 「大学な、一世を保育館において創立機會を で 2 (安東) 愛東郡(村) 人名 「大学など東郷(村) 人名 「大学など東郷(大学など) 人名 「大学など) 「 T また海敷の鮮鯛が八十名も去る十里に野して敷焼の搬出を禁止して ・大海敷の脚出を禁止して ・大海敷の脚関が八十名も去る十

安東朝鮮人會

連續三軒を襲ふ

歴部に突ささしたので主はその権 ので城の一名は突然域刀を王の大 記載とたるも王が騰じなかつた ので城の一名は突然域刀を王の大 「★天」二十一日午前二時頃養職 警察職第六分製管内民部御継追職 避済民方に四人組の消人學統強盗 避済民方に四人組の消人學統強盗 避済民方に四人組の消人學統強盗 避済民方に四人組の消人學統強盗 避済民方に四人組の消人學統強盗 動を職業逃走したさ 銀石で心口で は、石で心口で

勝り満州銀行支店の現金紙におい 電新城子規和洋行店銭が市内運速

一千圓紛失

四人組滿人拳銃强盜 潘陽第六管内を荒す 十 受けて黒龍江省民三百萬は今真に を 死活の曖昧に立つて居る、都が来 ても職付けが出来ないさ云ふ悲懐 につき島總務職民、中澤氏鉄鵬徳 につき島總務職民、中澤氏鉄鵬徳 につき島總務職民、中澤氏鉄鵬徳 につき島總務職民、中澤氏鉄鵬徳 につき島總務職民、中澤氏鉄鵬徳 こしたので職省長にかに流流名三百 では、第二百萬位今真に 窓に中央鉄府を を 書の農民は途に衝撃の下に でので職省長は勿論江省三百 でので職省長は勿論江省三百 でので職省長は勿論江省三百 でので職省長は勿論江省三百 でので職省長は勿論江省三百 でので職者長いの下に を またので職者長は勿論江省三百 でので職者との機能である。 でしたので職者長は勿論江省三百 でしたので職者長は勿論江省三百 でしたので職者長は勿論江省三百 でしたので職者長は勿論江省三百 でしたので職者長は勿論江省三百 では、第二十 の下に 死活の岐路に立つ省民三百萬

洲剛養展のために数

の感光に膨脹の急をに執致より特験の髪

丁超氏來吉

北山城子火事

二百萬國の國際に過ぎない、所へ 三百萬國の國際に過ぎない、所へ 三百萬の江省農民を見続して、所へ 一千萬國國際で云ふので中央では「子東大師路北清洲版人郷貨融戦からの離遥影談館は大校 一千萬國國際で云ふので中央では「子東大師路北清洲版人郷貨融戦からの離遥影談館は大校 一千萬國國際で云ふので中央では「子東大師路北清洲版人郷貨融戦か 一千萬國國際で云ふので中央では「子東大師路北清洲版人郷貨融戦か 一千萬國國際で云ふので中央では「子東大師路北清洲版人郷貨融戦か 一千萬國國際で云ふので中央では「子東大師路北清洲版人郷貨融戦か 一千萬國國の國際に過ぎない、所へ 一千萬國國の國際に過ぎない、所へ 一千萬國國の國際に過ぎない、所へ 一千萬國國の國際に過ぎない、所へ 一千萬國國の國際に過ぎない、所へ 一千萬國國の國際に過ぎない、所へ 一千萬國國の國際に過ぎない、所へ 一千萬國國の國際に過ぎない、所へ 一千萬國國の國際に過ぎない、所へ 一十六日午後十時平北山城。 東京 中の聖人達を膝談して下郷に、一 東京 中の聖人達を膝談して下郷に、一 東京 中の聖人達を膝談して下郷に、一 東京 中の聖人達を膝談して下郷に、一 東京 中の聖人達を勝談して下郷に、一 東京 中の聖人達を勝談して下郷に、一 東京 中の聖人達を勝談して下郷に、一 東京 中の聖人達を勝談して下郷に、一 東京 中の聖人達を勝談して下郷に、一 東京 中の聖人と、日本人田代勝彦氏 本学派と、日本人田代勝彦氏 本学派と、日本人田代郎、一 本学派と、日本人田代郎、一 本学派と、日本人田代郎、一 本学派と、日本人田代郎、一 本学派と、日本人田代郎、一 本学派と、日本人田代郎、一 本学派と、日本人田代郎、一 本学派と、日本人田代郎、一 本学派と、日本人田代・ 本学、一 本学派と、一 本学派と、一 本学派と、一 本学派と、一 本学派と、一 本学派と、一 本学派と、一 本学派と、一 本学、一 本学、一

モヒ密造

日文電報

にては今回日文電報局をハイラル デチハル】ハルビン電球管理局 時家族同伴急遽起任の途についた 連門、聯合會第一回幹事田

隱匿阿片沒收

がシス挑戦武道鉄吹の型 しつゝある今日頗る有か しつゝある今日頗る有か

发生 雄 弘 木 鈴 雄 武

一丁 生活の

蕉圖·空穗·不泣·喜志子·英一

<u>D</u>

評論

を語る。ドンガト

沙牧

新・都・シック 黑河

3

B

0

潤谷

郎崎

釜 中鹿人

三直十五木

機太郎

園池公功・金 **稍五郎百話** 窩

相談。栗林正修

惣茂

荒畑 を公私後十年の生活を共にしてその人間味を讃く友として てその人間味を讃く友として でもある。 寒 村

一石濱知行

意見書

**讀めー此責任版** 

是ぞ日本男子の眞面貌 家宕赤裸な自 滿 國

設 は、一般のでは、一般のないでは、一般のないでは、一般のないでは、一般のないでは、一般のでは、一般のないでは、一般のないでは、一般のないでは、一般のないでは、一般のないでは、一般のないでは、一般のないでは、

現養 駒井徳二著 東京九ビルの木社 ※ 清店に最の際は 出



高津愛子・杉山昌三九共演

ケイ・フラン シス共演

品作特超度年本活日・督監男邦邊渡・戦連號物讀ルーオ秋春藝文・作原忘不林 演助郎哲田梅。雄文原。親春村上。雄喜佐口山。華桃上尾。黃島寺。子智野牧。郎次榮上尾。二永木高

!沌混 • し上炎てりなと焰の蓮紅に弦や今は氣妖と秘神き難

○す舞亂・き卷渦てれら操に糸の惱煩―女 ・名 ・金 ・は悪邪と業罪の世の人るゆらあ―妬嫉と戀―謀陰と !!化畵映の作名の朽不るす號誇ら自と作傑の代一が忘不林者作原「談政岡大」 ! よ見

果して妥當か

當局者の考察を求めたい

職合會の決定に野も美術 定したい」で言ひ出した で(中村常務理事から)

提案したい 原則さして大連ご開催せよ。 も奉天の主張を容れなければな ちのさせば、青別を春秋二回さ ちかさせば、青別を春秋二回さ

はらに費用のみを

いなさつた

者が居るだらうか

過ぐるさ一笑儿得るだけの樂観

そるさ一覧し書もごうり影覧記 おの問題さ共に歌大問題で、十もあるだらうが、これを悲観に なかは、輸入組合の組織をごうすの意見は繰りに悲観的ださの事 くかは、輸入組合の組織をごうするからでは、 「見本市を今後如何なる方前に募得るや否や疑問にたへない 「見本市を今後如何なる方前に募しるから、

見本市兩地開催

今年の見本市際催地は常然大連な りと一般でも康徳と、既合会でも その支前から準備を進めてぬた、 ところが、昨年の際催地たる率天 ところが、昨年の際催地たる率天

日

日滿合辦電燈廠

新に克山に設立

滿電と在來廠との合同

上半は天候不順

盛夏期に入り漸く回復

達記錄

にてる場合は、日本部の小様を以て行はれる。 なほよる

滿鐵商業實習的

實地教育に邁進

満蒙将來の活躍に備へ

割一分增

外に軽談事項

且つ妙栗定期相場には光さ は寝へた今日必ずしも繁昌

必ずしも繁昌せず、上海標金相場の成力

延吉電業公司

點燈開始

然日、寒陽の風鬱業態勢所では、添日常艦された を見食法において酸業態者所では、添日常艦された でについて協議したが、微工課さの揺骸によって でについて協議したが、微工課さの揺骸によって では、 其骸的方法として敵工器 の経験せしめてゐる 電場 が、 は、 其骸的方法として敵工器 では、 は、 は、 は、 は、 などを では、 は、 は、 は、 などを では、 は、 は、 などを では、 などを では、 は、 などを では、 などを で

年さの比較な日漸經營者別に 大連商工会議所では二十五日午後 大連取引所 投機抑制を講究

相當の効果を期待さる

電安による経験画に内地の需要、八月の増産に減く前年度を超過す。 で彼らの多くは、緊郷なる資金で電安による経験画に内地の需要、八月の増産に減ら前年度を超過す。 で彼らの多月さら降雨纜、前年の一千百八十八萬庁に對う値。 反映を見るに至つた、大連銭鈔市でに於ける州内の壁幔画に就い。 不動有の天候不顧のため六年度。 か三十萬戸地の一千三百十八萬庁に對う値。 反映を見るに至つた、大連銭鈔市でに於ける州内の壁幔画に就い。 不動作の一千百八十八萬庁に對う値。 反映を見るに至つた、大連銭鈔市でに於ける州内の壁幔画に就い。 不動作の一千百八十八萬庁に對う値。 反映を見るに至つた、大連銭鈔市でに於ける州内の壁幔画に就い。 不動作の一千百八十八萬庁に對う値。 反映を見るに至った、大連銭銭・市のでに於ける州内の壁幔画に就い。 不動作の一千百八十八萬庁に對う値。 反映を見るに至った、大連銭銭・市のでに於ける州内の壁幔画に就い。 であるのは二十餘和。 でいるの海には、れがため の きは一般に行はれてなり、法規上の きは一般に行はれてなり、法規上

滿鐵二月中旬 鐵道收入 運動中である、先物取引をやつ 売物取引を禁止するこさになり それでは商取引上困るさ言ふの で目下小林取引所長、古澤賤信 ながまの緩和策について極力 裏務がその緩和策について極力 という。 ではでは商取引上困るさ言ふの ではでは商取引上困るさ言ふの ではでは商取引上困るさ言ふの ではでは商取引上困るさ言ふの

人 前年同郷より本地五萬五千五百個 比較増減 二月末累計 此 軽 大野前年同旬 二月末累計 此 軽 大野前年同旬 二月末累計 前 年度 ごくで一日平等三二二十四旬の湍線を選収入は左のご

英

鹿

◆・・見本市の職 後で解放する。

上海で高大自住門は 「上海サニ日数」 組銀は昨日の上げを消じてくるため標金上離れる さマバラ質屋の顔れ殺到じよく上 があ、弗は婆伽利先物よく質ひ支 那人の質问ひも利かす氣配射し、 個は質物褲に七十一、四分の一線 銀配や、強含ウ、七十、二分の一 銀行質り出来値。

尺八·琴古流指南 東京縣 海 町 一 六 東京縣 海 町 一 六 東京縣 海 町 一 六

東京期米 東京期米

株式の御用は

前年對比一

を得たので二十二日午前十時より を得たので二十二日午前十時より を得たので二十二日午前十時より

電の傍系さして滿洲國官廳の認可

看過出來ぬ

木下主任談

を膨膨し、火地における酸素腺液の実験を知ら海拉爾の八個所に有するが此等のうち安全なる

月月月月月月初 棉 回回回神

燈するこさゝなつた

右に就て木下्純油市場出版には潜る相が知の通り投機さいへば日商部のやり口が一番観楽で、その部のやり口が一番観楽で、その部のでしたが小さくない、昨今所るころが小さくない、昨今所るころが小さくない、昨今所るころが小さくない。

た望みたい 規程に違反せねやう業者の自重 が望みたい

爲替管理法

州内にも施行

三月末 15/10 1

包 米 二四〇〇二四〇〇 出來高 六軍 司 柏生東高(二十二日) 一〇六、〇〇枚 三八軒 定期喰合高 (廿一日) 一〇六、〇〇枚 三八軒 定期喰合高 (廿一日) 一一二四軍 一九里 豆 粕二四三一千枚 三千枚 豆 油 七〇〇百箱公五百箱

米安なれど

形勢は樂觀出來ない

3

廿二日歸連の常深氏語る

滿鐵滿蒙

が一億四千七百台港月、

廿五日開催

本 見れば旅順は日端人共清増、大連 は日本人四萬六千八百餘元の歳な がち満洲人の繋艦部増に約一動方 の減な元型、百八十三萬九千餘元 側にの減な元型、百八十三萬九千餘元 がら満洲人の繋艦部増に約一動方 を飛ば日本人經衝なく、満洲 で三千一百萬元の増を示したから の減を示したが反對に日本人強田 で三千一百萬元の増を示したとめる のった。 萬元の滅を示してゐる

諸倉 社社石貨客 計外內 貨一 口庫 物般炭收收 1-000-40 1-011-13 1-44-00 0-041-14 0-041-14 0-14-14 0 至0四、人次英

た権限内で、つてはもさし

倫敦損害保險會社

戦時保險料を徴收

満洲向船舶と積荷に

我保險會社と荷主に通知

その何れ

行の艦艇及び掘荷に獣と脱睦保險 | 社及び荷書職係者に二十日附た以 | ものさ見られてゐる | 禁不讎さなつたので日、滿洲方面 でなければ受入れない旨我保險會 | 月十日までには一様に営施される「東京特電二十二日量」ロンドン 料を徴収すること、なり、再保險 | て適皆して来たがその適用は料率

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10